

2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策①

高齢者施設等における3回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2月末までに接種完了しない主な理由

- 初回接種が遅く、6か月経過していない入所者等がいるため。



考えられる対応策

- 入所者等の全体ではなく、一部の方の初回接種の時期が遅い場合には、3回目接種を複数回に分けて行うことにより、2回目接種から6か月を経過した方への接種機会を確保することが可能です。

高齢者施設での参考事例

【事例1：特定施設入居者生活介護】 **住民接種と組み合わせた自治体の対応が有効**

⇒入所者については施設内で接種することとしたが、従事者については自治体が設置した接種センターでの接種を案内した。

2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策②

高齢者施設等における3回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2月末までに接種完了しない主な理由

- 施設において、接種体制の確保等の準備に時間を要したため。



考えられる対応策

- 施設が接種を行う医療機関が見つけれない場合には、自治体が医療機関との仲介を行うことが考えられます。
- 自治体が巡回接種を行う場合、通常の接種に要する費用（2,070円）を超える部分について新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の、大規模接種会場が巡回接種を行う場合には、新型コロナウイルス感染症緊急支援包括交付金の対象になります。

高齢者施設での参考事例

【事例1：特定施設入居者生活介護】自治体による対応が有効

⇒可能な限り、2月中に接種できるよう、ホームが主体となって協力医療機関と連携/調整した。調整がうまくいかないホームに関しては、自治体が仲介し、協力医療機関以外での接種を調整した。

【事例2：特別養護老人ホーム】自治体の臨機応変な対応が有効

⇒B町では、体調不良などで所定の日に接種できない入所者のために、福祉課やコロナチームの調整により、改めて施設に来てくれるよう手配してくれることになった。

2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策③

高齢者施設等における3回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2月末までに接種完了しない主な理由

- 施設側が早期接種を希望していなかったため。



考えられる対応策

- 3回目接種は、発症予防・重症化予防の観点から極めて重要であること、また、既存ワクチンもオミクロン株に対する発症予防効果や入院予防効果が確認されていることを説明し、可能な限り早期の接種を検討頂く。

高齢者施設での参考事例

【事例1：介護老人保健施設】 **自治体からの連絡が有効**

⇒ C市から早期接種のメリットについての連絡があり、事業所の判断のもと同一法人の医療機関で接種することとした。

2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策④

高齢者施設等における3回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2月末までに接種完了しない主な理由

- 施設側が、接種券が揃ってから接種する意向だったため。



考えられる対応策

- 1月27日の事務連絡「追加接種の速やかな実施のための接種券の早期発行等について」において、接種券なし接種の事務が簡素化されていることも踏まえ接種券なし接種の実施についてご検討いただく。

高齢者施設での参考事例

【事例1：介護老人保健施設】 **自治体からの連絡が有効**

⇒接種券無しでも進めてよいという連絡がD市からあり、実施した。

【事例2：認知症対応型共同生活介護】 **自治体の臨機応変な対応が有効**

⇒法人で入居者・職員の名簿をE市に提出し、3回目接種券を法人で一括受領した。